

この記事は、生徒が作成しました。

# 京都繊維学会

in 京都テルサ

日にち

2024年 11月15日～11月16日

レポート内容

- ① 繊維学会発表
- ② 浄水場見学
- ③ 番外編



## ① 繊維学会発表



発表は京都駅から少し離れた、京都テルサという会場の一室で行いました。教室ほどの広さで規模が大きすぎず安堵しましたが、審査員の方々や、ぎりぎりまで発表準備をする他校のみなさんを見て、緊張感が走りました。学会では他の出場校の発表も拝聴させていただきました。自分の視点にはなかった興味深いテーマを研究しているグループ、研究室のような高度な設備環境の中で研究を進めているグループなどたくさんの”驚き”を得ることができました。一方で、他の学校の発表を聞いているうちに自分たちの発表の良さに気づき、早く発表がしたいと自信が湧いてきました。そしてついに、私達厚木高校の発表の番になりました！



多くの研究者、大学の方々の前に立つのは緊張しましたが、学校やホテルで積み重ねてきた練習を思い出しながら、全員が自信を持って堂々と話すことができました。質疑応答でも自分たちの考えをしっかりと伝えることができ、また今後活かせるような良いアドバイスをいただくこともできました。

## 〈今回の学会を通じて私達が得た学び〉

1つ目は会場の他の人から受ける影響です。前述したように会場には他の出場校のみなさん、審査員のみなさんがいらっしゃいます。大学生のようなハイレベルな研究をしたり、趣味として自分の独学で一人研究を行なっている生徒などに圧倒されました。また、自分たちと似た研究をしている高校の方とお互いの研究について話をしたり、質疑応答の時間を通じて専門の方や他校生と対話を交えたり、会場にいるすべての方々から大きく影響を受けたと感じます。

2つ目は学会への挑戦力・行動力。学会という言葉を知るとどうしてもハードルが高く感じて、自分にはちょっと...と思っている人も多いのではないかと感じます。私達も実際たくさん不安や緊張を抱きながらの学会でした。しかし、実際は自分たちの考えているほど怖い場所ではなく、会場はとてもあたたかかったです。快く歓迎してくださり、自分たちも落ち着いて発表を終えることができました。

今これを読んでくださっている方の中には78期や79期の厚高生、もしかしたら厚木高校に入りたいと考えている子たちもいるかもしれません。自分には無理...と思わず、是非学会に参加し、自分自身で学会の様子を感じてみてほしいです。大変なことにたくさん直面するかもしれませんが、必ず出てよかったと思える、良い経験になると思います。私自身もこの経験を活かして今後の研究はもちろん、ヴェリタスⅡの活動の枠を越えて、学会の経験を活かしていきたいです。先生方や企業の方、班員のふたり、家族など発表のご指導、ご協力の面でサポートして下さった全ての方にこの場をお借りしてお礼を述べたいと思います。本当にありがとうございました。

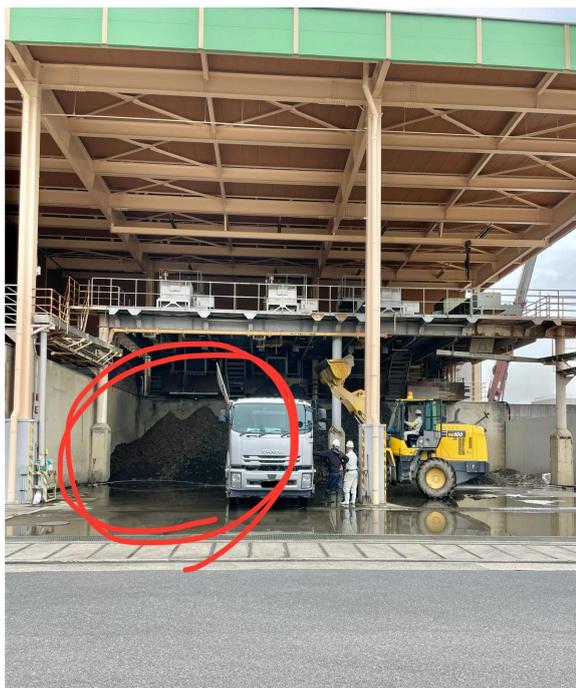
---

## ②浄水場見学



新大阪駅到着、昼食の後、私たちは浄水場見学に向かいました。今回見学させて頂いたのは柴島浄水場という場所です！私自身、浄水場見学には小さい頃に一度行ったことがあったのですが、部分的にしかり思い出せませんでした。そのため今回の見学がとても楽しみでした^^

ゴミを取り除くためにどんな機械をなんの目的で使われているのか、そこから飲料用として安全な水にするために何をしているのかなど、施設見学とともに様々なお話を聞かせていただきました。また普段の生活だけでなく、災害発生時のために大阪府の至る所で水を貯蔵しているということも聞きました。



私たちが普段何気なく使っている水道の裏にはたくさんの工程が隠れているということ、災害が起こってからのために備えてくれている人たちがいること、さらに製造する中で出てしまうゴミに関しても無駄にはしないということに感激しました。

◊水を綺麗にする途中で出てしまうゴミ。乾燥させた後、コンクリートなどの製造に利用されるそうです。一見関係なさそうな浄水場と道路の繋がりに驚愕しましたΣ(⌒)

## 〈今回の見学を通じて私達が得た学び〉

今回の見学を通して、“普通”のありがたみを身にしみて感じました。普段私たちが当然のように使っている水でさえも、たくさんの工程や、人が関わっており、生活する中で困っていないからというだけであるのが当たり前であるという訳ではないのだなと痛感しました。

また、小さい頃には楽しいなで終わってしまうような経験でも、高校生になった今、成長してから見学させていただくと、新しい視点、思考する際の材料として昇華できるのだなと実感しました。

今回私たちの見学を受け入れてくださった柴島浄水場さん、ありがとうございました！

---

次のページに続きます・・・

## ③番外編

実は一日目は大阪で浄水場見学と大阪見学、二日目は学会の発表というスケジュールでした。そこでここからは、オフショットと共に楽しさを皆さんに共有したいと思います！



大阪についたら大阪の名物、お好み焼きを食べました。シンプルなのに最後まで飽きることなく美味しくいただきました♡大阪では、府や市など自治体が地域の名物料理としてお好み焼きを広くPRしているほか、「上方お好み焼たこ焼協同組合」「にっぽんお好み焼き協会」「日本コナモン協会」など、お好み焼き(またはコナモン全般)を普及させるために活発に活動を行っている団体もあるそうです！

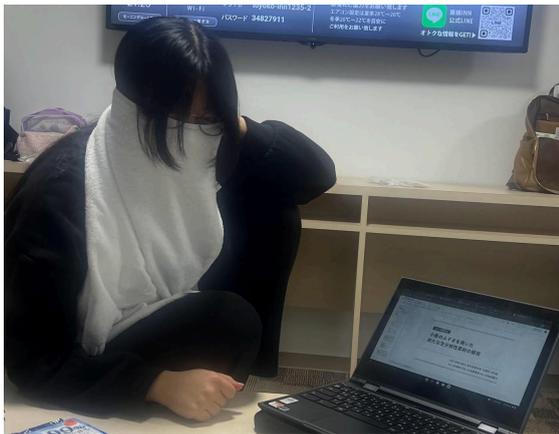
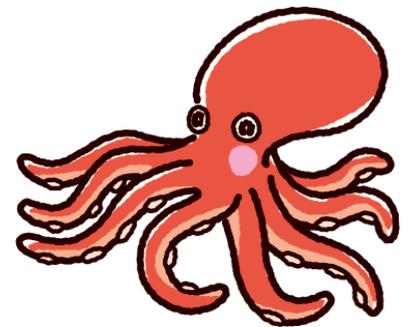


浄水場の様子。アニメやキャラクターが多くのところでも活用されていて、専門的な知識がなくても楽しめる展示内容でした！謎解きも用意されていて、先生と友達は夢中に。私は難しすぎて諦めました、チャレンジした2人はクリアしていました。



夜も大阪で有名な串カツを食べました！夜の大阪は東京とはまた違った都会さで、お祭りのようでした。

大阪の串かつ店では、一度口をつけた串かつを共用のソースにもう一度漬けることを禁止する共通ルールがあります。これは細菌が繁殖するのを防ぐためという衛生的な理由から生まれたほか、二度漬けることでソースに具材や衣が混ざってしまい、ソースの味が次第に変わってしまうのを防ぐためでもあるといわれています！



ホテルに到着。ここで引率の先生に一言。ホテルの部屋のセンスが最高です。広い部屋に大きなテレビ、2つあるお風呂やトイレなど。ここはリゾートかと思いました。寝る前には何回も発表の練習を部屋でして、次の日に備えました。恋バナもすごくはかどりました。



翌日、ホテルのバイキングで朝食をいただいたあと、発表まで少し時間があったため、清水寺見学に行きました。ちょうど紅葉し始めた時期で、緑と赤のコラボレーションがとっても美しかったです♡お昼はそばとうどんと団子をいただきました！



その後京都テルサに到着。発表に挑みました。

## 〈全体を通して〉

ただ結果を書くだけでなく、正解が分からない状態から自分たちなりの考察をすることで探究力が身につきました。私たちの班はそれぞれみんな得意分野があって、Iと私はポスターやスライド、Sは実験と役割分担がなんとなくもう決まっています。各々得意分野を活かしつつ互いに助け合っているのでチームワークが強くなったと感じています。私達は実験を行っている本人なので、聴衆よりもこの実験についての知識が深いです。だからこそ聴衆のみなさんでもわかるように工夫をしなければなりません。そこでただ数字を並べるのではなくもっと見やすい表に出来ないか、ここを簡単な言葉に置き換えられないかと試行錯誤を繰り返すことで創造力や表現力が培われたと思います。また、班でひとつなにかを成し遂げたい時、報連相がとても大切だと感じました。ここ私やつくからあなたはここをお願い、としっかり伝えることで効率もクオリティもあがることがわかったので今後も忘れないようにしていこうと思っています。発表は楽しみでも、私たちよりも深い知識をもっている大人の方々の質問に答えるのはとても怖かったです。しかし遠方から来たのもあり、たくさんお話して下さったのでチームメイトとのコミュニケーション力はもちろん、大人の方々とコミュニケーション力もついたと思います。研究における実験はだれも何が起こるかわかりません。そこでとりあえずやってみようという行動力や挑戦力が鍛えられました。

浄水場は小学生のときにも行きましたが、明らかに今回の方が深い学びとなりました。将来の行きたい学部的にもう化学は使わないだろうな—とっていたけれど、ちゃんと学校で教わることを学んでおくと、こういう機会に楽しみが増したり、考えさせることが多くなったりするんだと気付くことができました。前日の準備では、ここ質問来そうだよねと3人で考え、その返答もみんなで統一しました。そこでもまた考察ができたり新たに分かったこと(針葉樹パルプの存在など)もあったりしたのでとてもいい練習になったと思います。また、ずっと時間を計るだけだったので、1回客観的に見ようと動画も撮りました。すると自分はずっとスライドを見てることに気付いて、本番は聴衆の方を見ることを意識しました。本番当日はたくさん練習してきたから緊張よりも楽しみが勝っていました。聴衆のみなさんが頷きながら聞いて下さったので、私もなんだか自信が持てて発表しやすく、今までで1番いい発表ができたと思います。クラス発表などの機会があると思うので、その時は私もみんなの発表を頷きながら聞いて発表しやすい雰囲気を作って行けたらいいなと思います。他の学校の発表を聞いていく中で、同じ強度の測定でも方法が違ったり用いる道具が違ったりして新たな発想を得られました。クラスメイトの実験に似てる班もあったので、こんなことしてる人もいたよと伝えてあげたいと思います。機器のトラブルで時間が押してしまいましたが、みなさんの暖かいご協力に感謝しています。